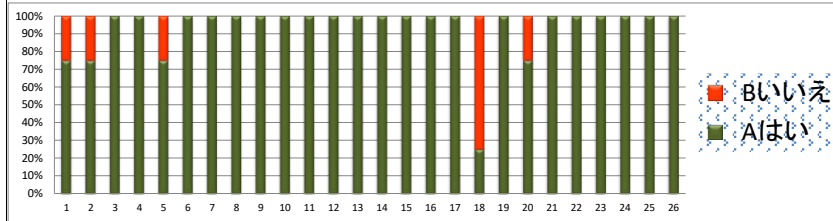


事業所職員 児童発達支援自己評価表2021年12月 レモンバーム



環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか
	2	職員の配置数は適切であるか
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか
適切な支援の提供	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか
保護者への説明等	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか
非常時等の対応	20	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか
満足度	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)
	24	地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか

工夫している点、課題や改善すべき点など

環境・体制整備	1	●練室の床には、なるべく教具などを置かないようにしている(少しでも広く使いたいため)●グループでの療育を行い、子ども同士の関わり場を作る
	2	●突然の欠勤などに対応できると安心だと思ふ●午前の療育が4人の時があるため職員の配置数を考えながら行っている。●欠勤した職員がいる日は特に職員の人数に余裕がなく、もう少し、必要だと感じます。
	3	●療育室Bには教具を常において置く場所が無いのでボックスを作りその中に入れて準備をしている。
	4	
適切な支援の提供	5	●午前と午後4と同じ職員がいるわけではないので広く職員が参画するのは難しい。
	6	
	7	
	8	
	9	●12週に1回研修の機会を確保できるように予定を立てていきたい。
保護者への説明等	10	
	11	
	12	
	13	
	14	
	15	●いろんな参考資料などを見て考えたり職員で情報共有している。
	16	
	17	●少しの時間であるが打ち合わせをしている。車の移動中なども打ち合わせをしている。
	18	●子どもの送迎などがあるため必ず打ち合わせが出来るとは限らない。職員は車での移動中に打ち合わせや振り返りをしている。 ●共有しそびれてしまうことがあるので注意していく。特に気づきがある時はその都度職員間で連絡は出来ていると思います。
	19	
非常時等の対応	20	
	21	
	22	
	23	●園訪問をし情報共有と相互理解を図っている。
	24	●電話で支援内容等の情報共有と相互理解を図っている。
	25	●事業所訪問に見えた時に、療育を見学して頂き助言を受けている。研修会にも参加して情報を取得している。
	26	保育所・認定こども園・幼稚園などに通園している子が事業所に通園しているため障害の無い子どもと活動する機会はある。